


遅延型アレルギー検査 + リーキーガット検査

【FIT132G】 FIT132+GBPパネル

(131+8項目) 

日本人にも馴染みのある食品に対するIgG抗体・c3dを調べるフードアレルギー検査に加え、【GBP】腸管バリアパネルがセットされた画期的な検査パネルです。

本検査パネルの特徴：

1. IgG抗体に加え炎症マーカーであるc3dをデュアルに調べることによって、より高い精度を実現しています。
2. 腸内環境の悪化につながるとされる食品添加物9種類が含まれています。
3. 腸管バリアパネルがあらかじめセットされています。

腸管バリアパネルでリーキーガットに関わる腸管上皮のタイトジャンクションの状態も併せて確認し、その後、131項目の食品のうち高反応の食品を除去することで腸内環境の改善に役立つ可能性があります。また、プロバイオティクス等の摂取も改善につながると言われています。

【乳製品】カゼイン（牛）、牛乳、ヤギ乳、ホエイ（牛）

【卵】卵黄、卵白

【穀物】大麦、雑穀（イネ科）、オート麦、白米、ライ麦、小麦グルテン、全粒小麦

【フルーツ】リンゴ、アボカド、バナナ、ブルーベリー、網メロン、サクランボ、クランベリー、ブドウ（白、種なし）、グレープフルーツ、ハネデューメロン、レモン、ライム、オリーブ（緑）、オレンジ、モモ、洋ナシ、パイナップル、プラム、ザクロ、ラズベリー、イチゴ、スイカ

【添加物】アスバルテーム、安息香酸、ブチルヒドロキシアニソール（BHA）、グルタミン酸ナトリウム（MSG）、ポリソルベート80、赤色3号、赤色40号、サッカリン、黄色5号

【野菜】アーティチョーク、アスパラガス、ピーツ、ブロッコリー、バターナッツカボチャ、キャベツ、キャロブ、ニンジン、カリフラワー、セロリ、コラードグリーン、トウモロコシ、キュウリ、レタス、タマネギ（白）、ヒヨコ豆、グリーンピース、ピーマン（緑）、サツマイモ、ジャガイモ、セイヨウカボチャ、ほうれん草、トマト、ズッキーニ

【豆】ココア、コーヒー、キドニー豆、レンズ豆、白インゲン豆、うすら豆、大豆

【スパイス】バジル、シナモン、ニンニク、ショウガ、ホップ、マスタード、オレガノ、パプリカ、黒コショウ、唐辛子、ペパーミント、ローズマリー、ターメリック、バニラ

【魚】タラ、カレイ、オヒョウ、サケ、シーバス、フエダイ、メカジキ、マス、マグロ

【肉】牛肉、ベーコン、ラム肉、豚肉

【ナッツ】アーモンド、カシューナッツ、ココナッツ、セイヨウグルミ、ヘーゼルナッツ、ピーナッツ、ペカン

【抽出物 / その他】アガベ、キャノーラオイル、マッシュルーム、スピルリナ、サトウキビ、紅茶、赤ワイン

【微生物】カンジダ*、製パン用イースト、醸造用イースト

【家禽肉】鶏肉、鴨肉、七面鳥肉

【種子】ディルシード、フラックスシード、キノア、ゴマ、ヒマワリ種子

【シェルフィッシュ】ハマグリ / アサリ、カニ、ロブスター、ホタテ貝、エビ

* カンジダは実際の検査結果の「腸管バリアパネル」に表記されます。

【GBP】 主要な4つのマーカー（カンジダ、ゾヌリン、オクルディン、LPS）